

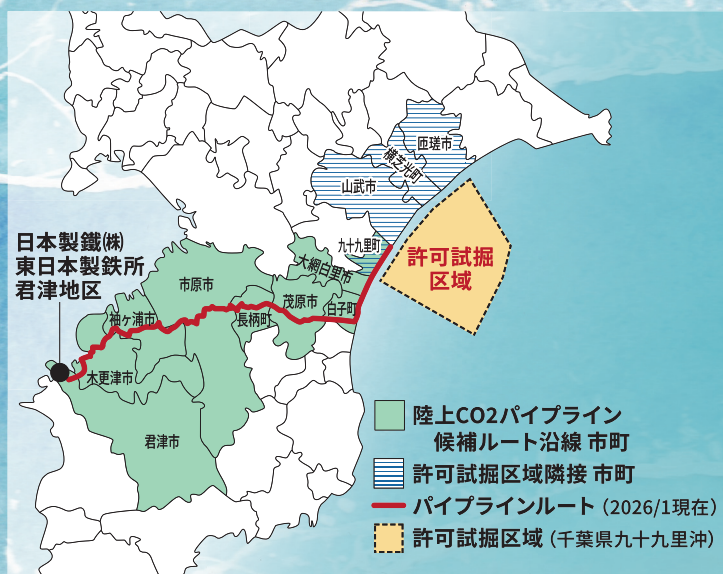
九十九里の海が CO₂、海に 捨てちゃって いいの? 変わっちゃう?!

首都圏CCS事業とは

内房の工業地帯で排出されるCO₂を、80kmのパイプラインで房総半島を横断して外房に送り、九十九里沖の海底に圧入・貯留するという壮大なもので、脱炭素の名目で計画されています。

この計画は、日本製鉄、首都圏CCS株式会社によるもので、国の手厚い支援を受けて開始されました。周知の範囲が著しく狭く、多くの住民がまだ知りません。

CO₂削減効果はごくわずか。再エネへの転換や製鉄方法の変更（電炉、水素還元等）などもっと効果的な方法があります。



どんな問題があるの?

1

地震などでの
漏洩リスク

地震などで貯留層の上部の泥岩層が破損し、CO₂が漏れ出すおそれもある。

2

漁業や生態系
への影響

CO₂が漏れると周辺の海水が酸性化します。漁業対象種にも悪影響のおそれがある。

3

数千億円の
税金投入

数千億円もしくはそれ以上が見込まれますが総額は不明。間接的に市民の負担に。

4

住民はほとんど
知らない

これほど大規模な事業なのに、ごく狭い範囲の住民にしか説明が行われていません。

5

削減できるCO₂は
わずか

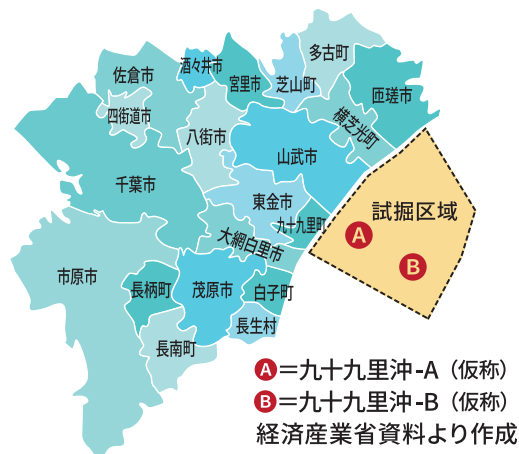
年間回収量120万トンは、君津製鉄所から出る1400万トンの10分の1以下。

九十九里沖に巨大建造物?! 景色が、くらしが変わるおそれ

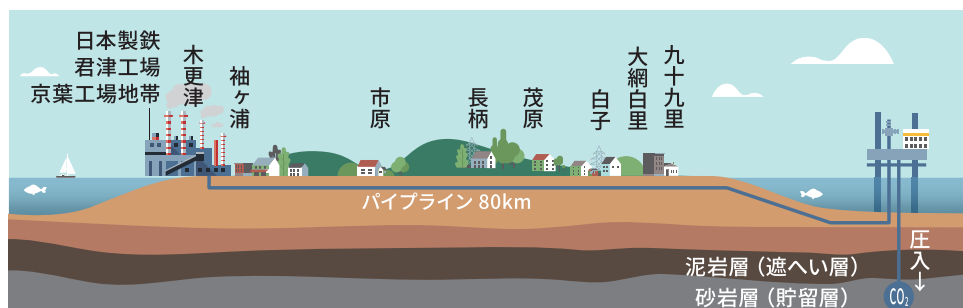
2026 年 4月に経済産業省は試掘許可を出しました。環境影響評価の手續きもないまま、7月に「試掘」のための巨大な海上掘削リグが建てられました（右図のA=九十九里沖5km、追ってB=同13kmの地点）。事業が本格的に実施されることになれば、海上に「圧入装置」が建設される見込みです。

九十九里の海の景観や潮の流れが変わり、サーフィンなどのマリンスポーツや観光への影響が懸念されています。

まだ間に合います。地域からの声を伝えましょう。



海上掘削リグ 海上の高さは約 120m
首都圏 CCS 株式会社ウェブページより



試掘後の本事業のイメージ図 海上に圧入装置を設置する案
首都圏 CCS 株式会社ウェブページより

私たちに何ができるの？



九十九里の海をまもって！

二酸化炭素を九十九里沖海底に捨てる
首都圏CCS事業を中止してください
(Change.org)



白里海岸からの初日の出に掘削機を重ねたイメージ

詳細はこちら

- 九十九里の海をまもる会 <https://www.kujukuriseasideccs.net/>
- 気候変動を考える東京湾の会 <https://nocoal-tokyobay.net/>
- FoE Japan <https://foejapan.org/> 「首都圏 CCS」で検索

